

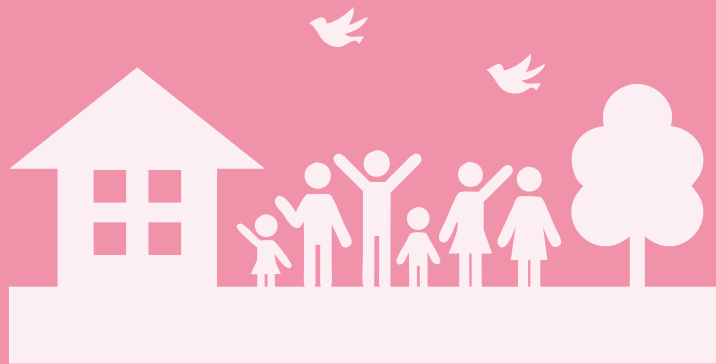
生活クラブはなぜ福祉に取り組むの？

生活クラブは協同組合です。協同組合の目的は世の中を少しでも良くすること。一人ではできないことも協同する(心と力を合わせる)ことにより様々な問題を解決してきました。購買力を結集し安心安全な消費材をつくってきたように、超少子高齢化が加速する社会に向けても、地域の中でどのように暮らしたいかをみんなで考え、私たちが望む福祉を様々につくっていきます。

「市民参加型福祉」をすすめます！

市民参加型福祉とは、地域に必要と思う福祉サービスや福祉活動を、そこに暮らしている市民自らが様々な方法（NPO団体、市民事業、ボランティア、ワーカーズ、市民サークル等々）で実践することをいいます。地域の中で誰もがその人らしく尊重され安心して暮らし続けられるような市民参加型福祉を、みんなで大きく育てましょう。

※共同購入事業とは別に福祉のみを目的とした基金をつくることで、賛同した人のお金の流れがはっきり見えます。そして共同購入事業に左右されない安定した財源となります。



福祉基金のしくみ

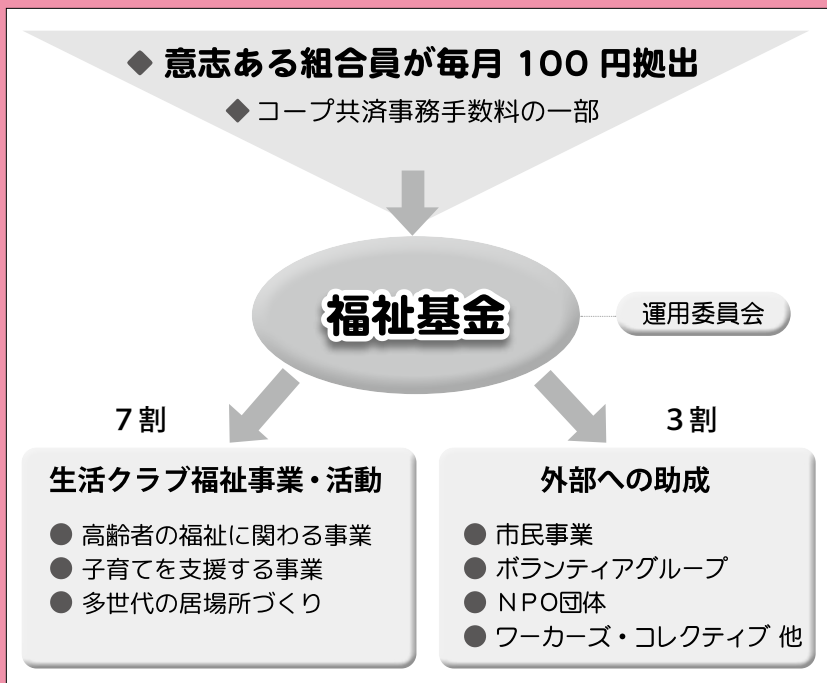
基金の参加の方法

- 一人ひとりの組合員の意志に基づき毎月 100 円を拠出します
- 「福祉基金賛同書」を提出することで参加の意志を確認します
- 毎月の共同購入代金と一緒に引き落とします

基金の使いみち

福祉基金は下記の使い方を基本とします

- ①生活クラブが進める福祉事業・活動への使用
- ②地域で活動している団体等への助成



- ◆ 助成金や使いみちについて、組合員に広報していきます。年 1 回、報告会を開いて多くの人に意見交換の場を設けます。
- ◆ 外部への助成については申請に基づき審査の上、単年度ごとの助成とします。助成地域は生活クラブ共同購入エリア内とします。
- ◆ コープ共済事務手数料からの拠出額は、個人の拠出金を超えない範囲にします。
- ◆ 福祉基金運用委員会
専門家を含めた 10 名程度で運用委員会を設置し、基金の運用に関する監査とともに外部助成先の選考等を行います。

問合せ先 生活クラブ生活協同組合 ☎ 011-887-8891

発行 1000 部

私たちがつくる もう一つの福祉

「市民参加型福祉の輪を広げよう」

さあ！

始めませんか 福祉基金



生活クラブ

地域に必要な福祉を 私たち一人ひとりが支えます！

意志ある組合員一人ひとりの毎月 100 円の拠出金からなる福祉基金は、生活クラブが進める福祉事業や活動と、地域で活動する団体等への助成として使われています。

●福祉基金の7割を生活クラブの進める福祉事業・活動に拠出しています

ほっとたいむ

厚別区大谷地会場は札幌市の地域子育て支援拠点事業（ひろば型）の指定を受けて、週 3 回の常設サロンとして開催しています。また、中央区桑園会場は週 1 回、開催しています。

運営は子育て支援ワーカーズ ほっぺ（大谷地）、子育て支援ワーカーズ ぽぽら（桑園）。地域の組合員サポーターに見守られながら、参加の親子が木のおもちゃや絵本に囲まれて、“親も子もほっとできるひと時”を過ごしています。



ほっとたいむ大谷地（厚別区）



ほっとたいむ桑園（中央区）

放課後 room こちる

生活クラブ館・北広島では、小学生の放課後の居場所づくりとして「放課後 room こちる」を開催しています。運営は子育て支援ワーカーズ ほっとまむです。「こちる」という名前は、ここにいるよ、というメッセージと心地よい居場所であるようにとの願いが込められており、子ども達が安心して過ごせる場所となっています。



介護・認知症に関する講座

たすけあいワーカーズを講師に、オリジナルテキストを使って学ぶ「介護講座」では、家庭での日常的な介助のコツをわかりやすく学びます。

また、認知症の方への接し方や支援の仕方を学ぶ、認知症サポーター養成講座を定期的で開催しています。



認知症サポーター養成講座

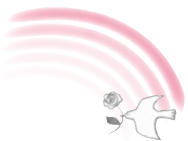
多世代の居場所づくり

生活クラブ館・とよひらで、子育て中の親子が集える「ぽんぽんひろば」と「健康体操（シンプルエクササイズ）」を定期開催。多世代が集うイベントや図書の貸し出しも行っています。みんなの居場所「うたりんご」は、週 1 回オープンし、地域の人が安心して過ごせる場をつくっています。



ぽんぽんひろば（上）とうたりんご

福祉基金のあゆみ



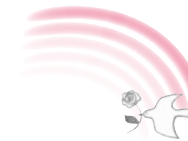
- 2003 年度 ・福祉基金創設
- 2004 年度 ・「介護教室」スタート
- 2005 年度 ・厚別区大谷地で子育て支援親子ひろば「ほっとたいむ」開設
- 2006 年度 ・北広島市輪厚で「ほっとたいむ」開設
- 2007 年度 ・「介護予防教室」（いきいきライフ講座）スタート
- 2010 年度 ・福祉基金賛同者集会を 3 回開催
- 2011 年度 ・福祉基金が 100 円に金額変更
- 2012 年度 ・東区伏古で「ほっとたいむ」開設（～ 2024 年）
- 2014 年度 ・大谷地会場の「ほっとたいむ」が札幌市地域子育て支援拠点事業の指定を受ける
 - ・北広島市輪厚会場の「ほっとたいむ」を「生活クラブ館・北広島」へ移設（～ 2020 年）
- 2015 年度 ・「認知症に関する講座」スタート
- 2017 年度 ・中央区桑園で「ほっとたいむ」開設
- 2020 年度 ・「放課後 room こちる」開設
- 2024 年度 ・生活クラブ館・とよひらで「居場所づくり」スタート
- 2026 年度 ・みんなの居場所うたりんごで「居場所づくり」スタート
- 2004 年～ 2026 年度まで毎年助成
- これまで、253 団体【総計 28,115,923 円】を助成

●福祉基金の3割を地域で福祉活動を進めている団体等に助成しています

【2026 年度 助成団体】

No	団体名	助成内容	所在地	助成額（円）
1	NPO 法人 いしかり地域共生ラボ	認知症に関する映画上映会費用	石狩市	150,000
2	NPO 法人 CAN	困窮した若年女性を対象とした生活相談会費用	札幌市豊平区	298,000
3	NPO 法人 子育て応援かざぐるま	講座に使用する実物大赤ちゃん人形購入費用	札幌市中央区	217,800
4	さっぽろあすびす	化学物質過敏症や香害についての啓発活動費用	札幌市厚別区	173,556
5	NPO 法人 nicon	不登校の親子に向けた居場所の会場費用	札幌市手稲区	91,200
6	ふきのとう文庫	本の購入費	札幌市中央区	200,000
7	北海道低肺の会	会報誌発行に関わる費用	札幌市中央区	130,000
8	労働者協同組合 たすけあいワーカーズそよ風	利用者との交流会「よってかない会」開催費用	札幌市東区	50,000
9	ワーカーズ ひなたぼっこ	カフェ備品購入	岩見沢市	76,870

生活クラブ福祉基金賛同書



記入年月日 年 月 日

支部

組合員コード

氏名

電話番号

（必ず記入して下さい）

私は生活クラブ福祉基金に賛同し、毎月 100 円を拠出します。

事務局

賛同される方は賛同書を古封筒に入れ、業務便で本部宛に提出して下さい